

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	桐生大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	群馬
大学全体の総収容定員	606 名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科 組織構成	医療保健学部（看護学科、栄養学科）		
事業計画名	スポーツ×DXにより社会課題解決に貢献できる人材を養成し、地方創生・地方成長を実現する「桐生大学 健康科学部 スポーツデジタルイノベーション学科」設置計画		

2. 事業概要

本事業は、「健康科学部スポーツデジタルイノベーション学科」の設置である。地域を拠点とした多様な人々の社会課題解決に貢献し、Well-beingの力になるべく、スポーツ×DXによる“分野融合の懸け橋となる専門性”を備えたイノベーション人材を育成する。解決したい社会や地域のニーズ・課題として、AI技術のユースケース構築を通じた日常化、部活動の地域移行における持続可能なシステム構築、eスポーツを活用した「始動人育成」による地方創生（まち・ひと・しごと）、そしてこれら3つの課題における分野融合によって課題解決できる専門性を備えたイノベーション人材不足を捉えている。これらの課題解決を目指し、スポーツ・健康・データサイエンスの基礎理論を礎に、専門理論（eスポーツ教育マネジメント理論も含む）と演習を1年時から2年時にかけて修学し、企業および、自治体連携によるフィールドワークと卒業研究へと移行する体系的カリキュラムを編成する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度				
認可申請・届出の別	認可申請				
改組内容	学部の新設				
設置等組織名	健康科学部 スポーツデジタルイノベーション学科				
設置等組織の学位分野	工学関係	体育関係	-	-	-
当該学部等の所在地	群馬県太田市				
入学定員	新設予定				
収容定員	新設予定				
入学定員の増加数	80 名				
他学部等の入学定員の減少数	0 名				

事業計画名 スポーツ×DXにより社会課題解決に貢献できる人材を養成し、地方創生・地方成長を実現する「健康科学部スポーツデジタルイノベーション学科」設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	健康科学部スポーツデジタルイノベーション学科	入学定員増数(合計数)	80名
所在地	群馬県太田市 群馬県みどり市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	0名

【教育内容・育成する人材像】

地域を拠点とした多様な人々の社会課題解決に貢献しWell-beingの力になるべく、スポーツ×DXによる“分野融合の懸け橋となる専門性”を備えたイノベーション人材を育成

スポーツ・健康・データサイエンスの基礎理論を礎に、専門理論(eスポーツ教育理論も含む)と演習を1年時から2年時にかけて修学し、企業および自治体連携によるフィールドワークと卒業研究へと移行して、最終的に社会課題を分野融合の観点から解決できる人材と成るべく体系的なカリキュラムを編成する

【連携を通じた教育体制の整備】

- ✓ 富士通(株)Human Digital Twin事業部との連携によるAI・データサイエンス人材育成の実装や技術開発サポート、講義の開講(世界初のAI技術のユースケース構築)
- ✓ 群馬県内プロスポーツチームとの連携による、スポーツを活用した健康まちづくりのフィールドワークや講義の開講
- ✓ 群馬県が推進する「eスポーツ始動人※注育成」(eスポーツ×something 何か)を実現するべく、NASEF、群馬県eスポーツ連合との連携による、eスポーツ教育マネジメントの資格取得カリキュラム整備
- ✓ 関連企業、自治体、ならびに地域スポーツクラブとの連携による、部活動地域移行におけるスポーツDXを駆使した大学生指導者育成教育
- ✓ イオンモール太田との連携による、健康まちづくりに関するフィールドワーク、講義の開講

【設置学部等の概要・コンセプト・特徴など】

AI技術の実装研究開発 部活動の地域移行支援
eスポーツ始動人※注育成

大学を地域拠点として × 地方創生・成長を実現

分野融合の架け橋となる専門性を備えた
イノベーション人材育成

- ✓ 工学の学修を前提として、富士通(株)が世界で初めて開発した人の動きをデジタル化するAIを基に、数理・データサイエンス・AIの基礎・応用を学び、スポーツ科学やスポーツマネジメントなどの学修も行う「文理融合型教育」を行う。
- ✓ 企業や自治体が向き合う社会課題と常に向き合うPBL学習を中心に据え、学生の教育研究成果が、地方創生・地域成長に直接的に還元できる学修環境を整える。

【多様な入学者の確保】

- ✓ 総合型選抜における学際探求入試や探求評価型入試の導入検討と、数理・情報科目の導入、育成する人材像のコンピテンスを適格に評価できる面接内容の検討
- ✓ 女子スポーツやチャリーディング等を入口とした枠組み整理と、eスポーツにおける国際大会や教育指導者を目指す女子枠の特別選抜制度等の検討
- ✓ 学生のPBL学習と連動する形で、地域の初等中等教育段階の学校に対する、積極的な出前授業や招待授業の企画
- ✓ 関連企業やプロスポーツ団体との連携による、アスリートのセカンドキャリア・デュアルキャリアの受け入れ整備

※注 始動人とは、新・群馬県総合計画の中で、「自分の頭で考え、他人が目指さない領域で動き出し、生き抜く力を持つ人のこと」と定義され、教育イノベーション推進のために不可欠な人材として位置付けられている

【社会や地域のニーズ・課題】

- ①AI技術のユースケース構築を通じた日常化
- ②部活動の地域移行における持続可能なシステム構築
- ③eスポーツを活用した「始動人育成」による地方創生(まち・ひと・しごと)
- ④①～③の分野融合によって課題解決できる専門性を備えたイノベーション人材不足